平成21年度 夏期の省エネ実践活動「アンケート結果」

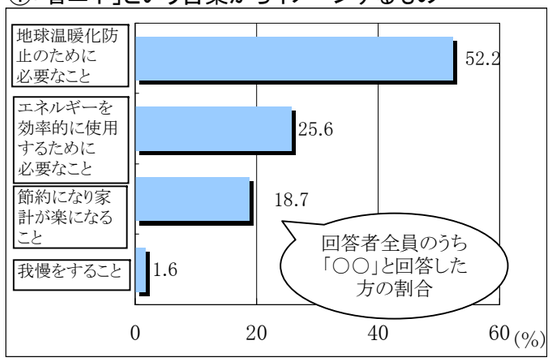
平成21年12月
補助事業者　北陸電力株式会社・富山市
（株式会社北陸電力リビングサービス）

■省エネ実践活動およびアンケートの目的
・「富山市住宅省エネルギー連携推進事業」では、平成18年度と平成19年度にエコキュートと省エネナビを設置された富山市民の皆さま（平成18年度 284名、平成19年度 100名　合計384名）に、エネルギー消費量の多い夏期・冬期に省エネ活動を実践していただき、その結果を広くPRしています。
・これを継続的に実施することによって、エネルギーの無駄や使いすぎをなくし、CO_2排出を抑制することが習慣化され、省エネ住宅の輪が広がっていくことを期待しています。

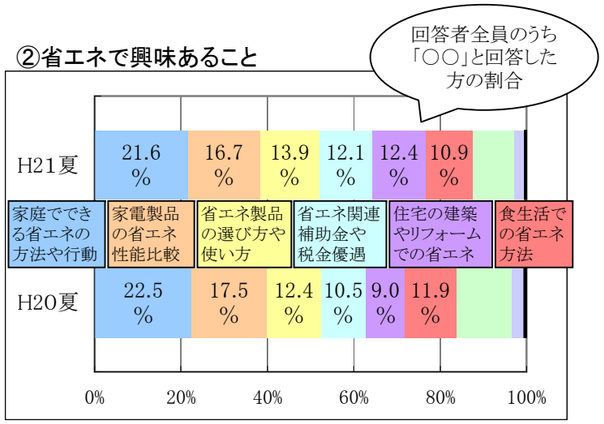
■平成21年度 夏期活動の日程とアンケート回答
・平成21年7月1日～平成21年8月31日の62日間で実施
・有効回答数　301件（回答率78．4%、平成18年度事業 76．4%、平成19年度事業 84．0%）

1．省エネルギーに対する意識・考え

①「省エネ」という言葉からイメージするもの

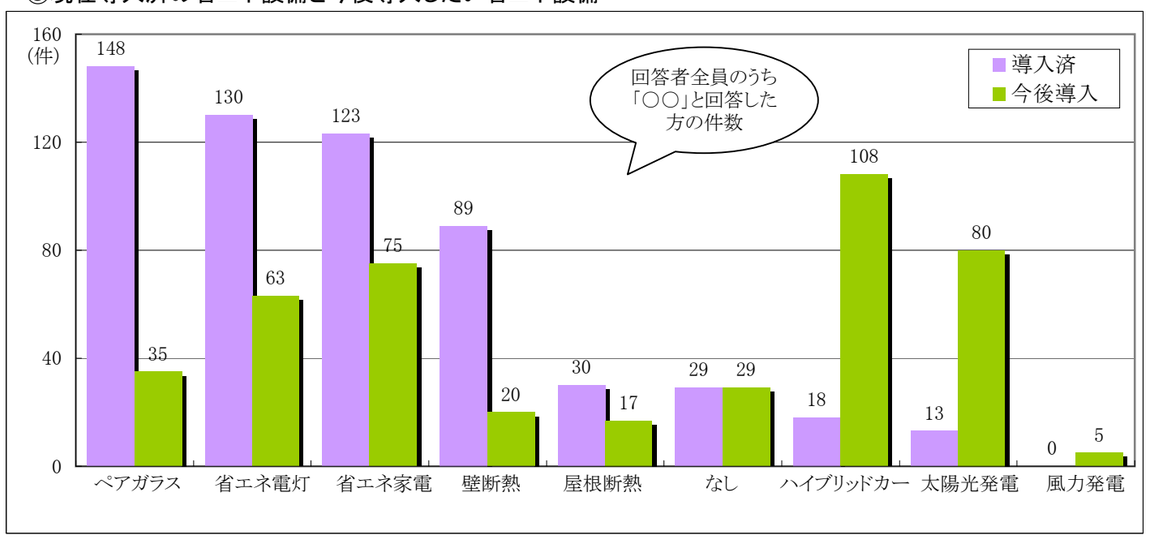


②省エネで興味あること



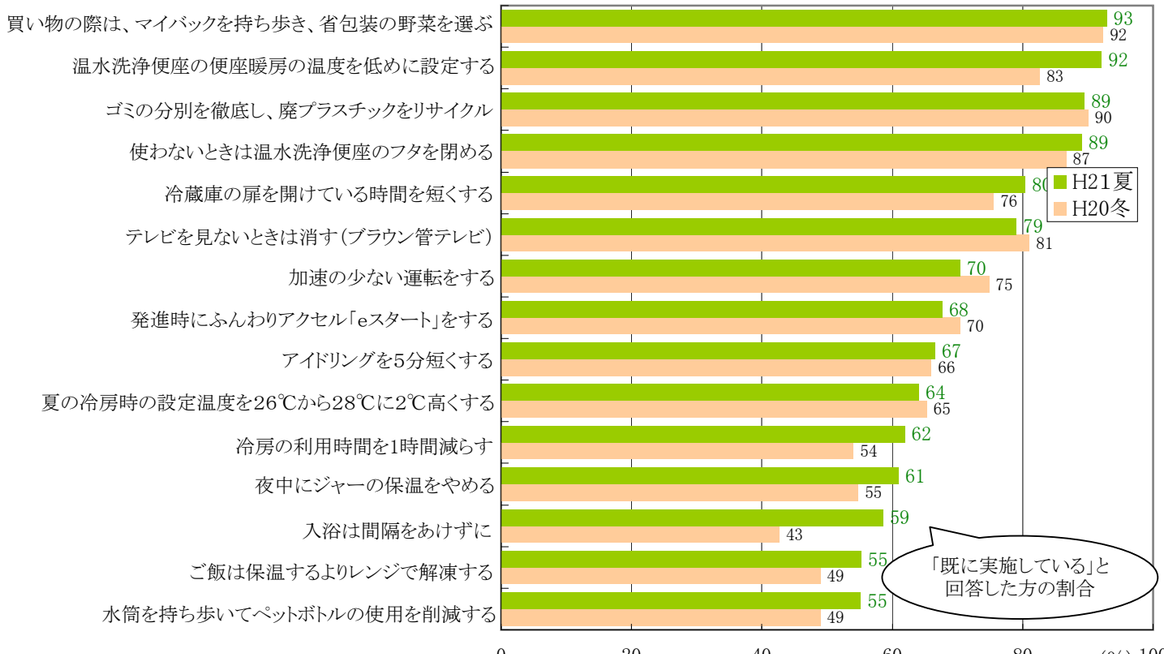
■「省エネ」からイメージするもので、「地球温暖化防止のため」で約52%、「エネルギーを効率的に使用するため」で約26%と両項目で大半を占めている。
■興味のあることは、「省エネ製品の選び方」や「省エネ関連の補助金や税金優遇」などが昨夏よりも高くなっている。

③現在導入済の省エネ設備と今後導入したい省エネ設備



■導入済み省エネ設備で最も多いのは「ペアガラス」、次いで「省エネ電灯」が多い。
■今後導入したい省エネ設備は、「ハイブリッドカー」・「太陽光発電」など、減税・エコポイント・補助金対象となっている設備に多くの回答が集まった。

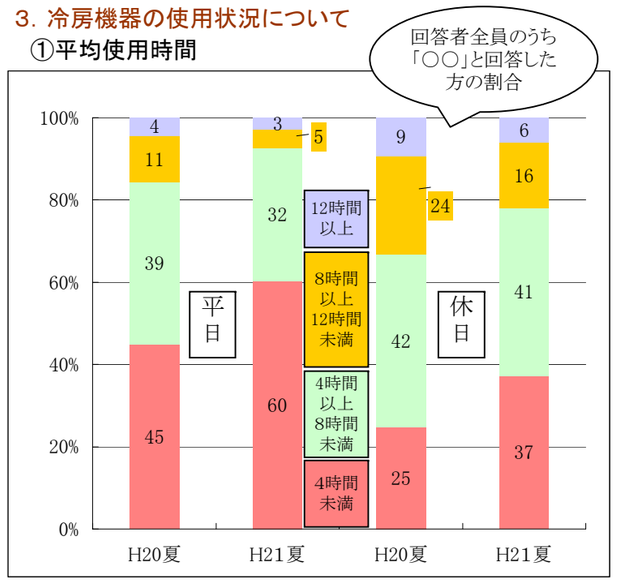
2.「めざせ！1人、1日、1kgCO2削減」について（抜粋）



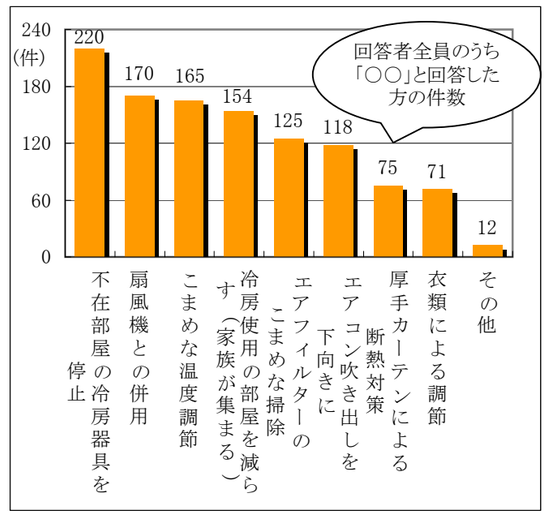
■省エネ行動として実施されている率が高いのは「マイバッグ使用」や「便座の温度設定」、「ゴミの分別」など
■あまり実施されにくいのは「ペットボトルの削減」「ご飯のレンジ解凍」「入浴間隔を短く」など
■前回より実施率が上昇したのは「入浴間隔を短く」「便座の温度設置」など

3．冷房機器の使用状況について

①平均使用時間



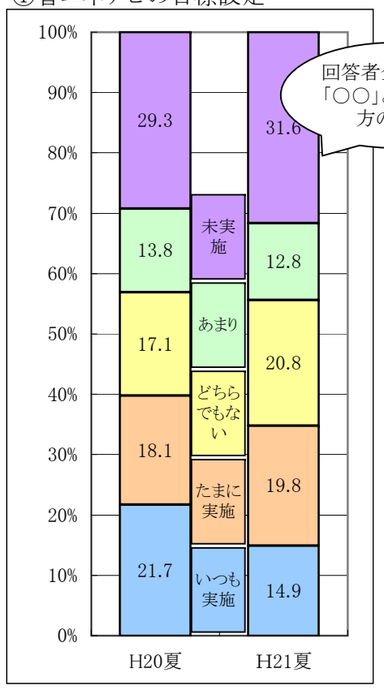
②省エネルギー策



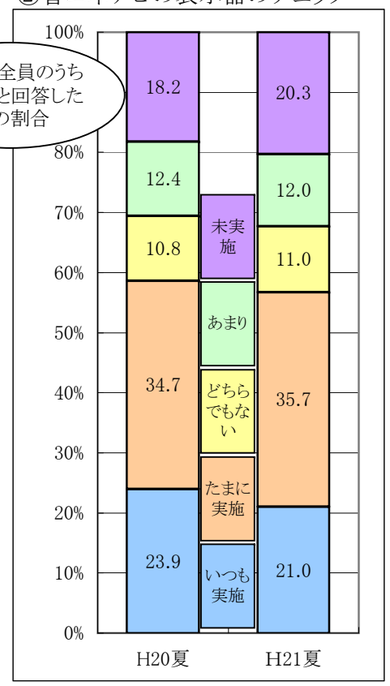
■平均使用時間については、冷夏の影響もあり、「4時間未満」の比率が、平日・休日共に前年より増加したと推測される。
■省エネルギー対策については、「不要な冷房停止」や「扇風機との併用」、「こまめな温度調節」を半数以上の方が実行している。

4. 省エネナビの活用について

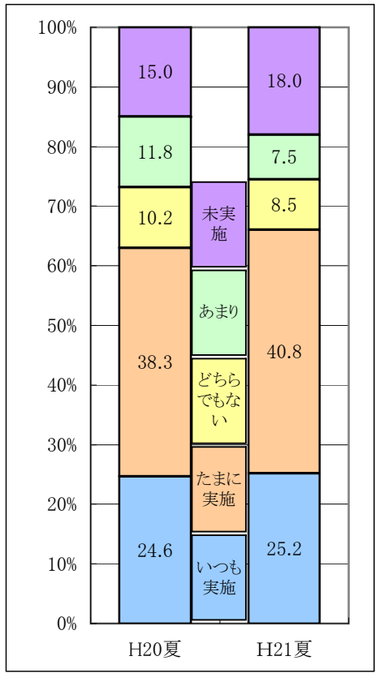
①省エネナビの目標設定



②省エネナビの表示器のチェック



③過去の使用電力量との比較



■目標設定　⇒　設定している方(いつも設定・たまに設定の合計)が減少、未実施が増加している。
■表示器のチェック　⇒　「いつも実施」「たまに実施」の合計が前回より減少している。
■過去実績との比較　⇒　「いつも実施」「たまに実施」の合計が前回より増加している。

♪北陸電力からのワンポイントアドバイス♪
エコキュートの上手な使い方

1. 時刻設定の確認をしましょう。

※時刻設定方法は、メーカー取扱説明書をご覧ください。

2. 季節に合わせた沸き上げ温度設定をしましょう。

3. お出かけの時は不在設定をしましょう。

～まめ知識　沸き上げ設定温度～

タンク内のお湯は高温のため、使用する時に水と混ぜて42℃程度に調整します。そのため65℃と90℃で沸き上げた場合、実際に使用できる湯量が変わります。使用する湯量が少ない夏は、沸き上げ温度を低く設定することで、電気料金の節約ができます。

5. 自由意見

■省エネや地球温暖化防止について、最近新しく取り組み始めたこと(順不同)

・自動車走行中においても極力窓を開け、クーラーの使用は控えた。
・米のとぎ汁を家庭菜園に利用し、化学肥料をできるだけ使わないようにした。
・南窓に緑のネットを張り、ゴーヤを育て、緑のカーテンで夏の暑さをさえぎり、エアコンの使用時間を減らした。
・自動車は極力利用せず、近い場所は徒歩や自転車で移動。少し遠方の所は、交通機関の利用を実行した。
・低燃費車に買い替えた。
・居間南側に、日除け用のつる性の花や果物などを植えた。
・圧力鍋を使って調理時間を短縮した。
・自宅の外装リフォーム工事(断熱材使用)をした。
・家の周りに緑を増やした。
・掃除機の使用を減らし、なるべくホウキ、モップを使った。
・煮物、麺類は余熱で調理するようにしている。
・白熱電球から蛍光灯へ変更した。
・お風呂のシャワーヘッドを節水タイプにした。
・家庭生ゴミを乾燥粉砕機を使って家庭菜園の肥料にした。
・子供への省エネ教育をした。
・調理する時にはタイマーを使用するようになった。
・太陽光発電を導入した。
・自動車をハイブリットカーに乗り換えた。
・ポットの保温はなるべくせず、必要な時だけ沸かした。
・冷蔵庫に物を詰めすぎない。毎日スーパーに行って、必要な分しか買わないようにしている。
・パークアンドライドによる通勤を始めた。
・こまめにコンセントを抜くようになった。
・カーテンを二重にした。
・早寝、早起きの実行。
・入浴はシャワーをできるだけ使わないようにした。

■家庭での省エネ活動についての独自アイディア(順不同)

・使用してない電気製品のコンセントを抜き、待機電力を減らしている。
・省エネ対象項目を設定した上で、進捗状況を数値化している。
・ご飯をできるだけ冷凍している。
・洗濯を朝7時頃までに終わるようにする。
・南側の窓外につる物植物を棚に這わせて日除けをし、窓を開けて網戸にして、自然の涼しい風を部屋に取り入れている。
・日差しの強い日は厚手のカーテンをひく。エアコンのフィルターの掃除は毎回自動でするタイプにしている。
・植木鉢の水やりは貯め水を利用する。
・夏季に窓面は全てスダレをつるす。
・玄関の照明をセンサー式に変更した。
・夏は便座暖房をつけない。
・省エネ活動の成果をみるバロメーターとして、光熱費の変化を把握する。省エネナビを活用して具体的な目標を設定している。
・家族同士でムダを見つけたら指摘し合っている。
・家族が同じ時間・部屋で生活できるように意識している。
・お風呂に入る時間を家族全員続けてまとめて入るように心がけている。
・水道は元栓で調整。蛇口から多く水が出ないようにしている。
・電子レンジで調理時間を短くし、電気の使用を減らしている。
・雨水をバケツに貯めて、花壇の散水利用に使っている。
・明るい部屋の電灯を消す。
・冷蔵庫に物を詰め込みすぎないようにしている。買い物は必要な分しか買わない。